

殺虫殺菌・植物成長調整剤 **フジワンラップ**® 粒剤

登熟歩合向上と カメムシ類による斑点米の発生抑制に!

カメムシ吸汁
による斑点米



完全粒



水稻主要病害の防除にも

いもち病



稻こうじ病



写真: イメージ



詳しくは
特設サイトを
チェック!

®は日本農薬(株)の登録商標



上手な使い方



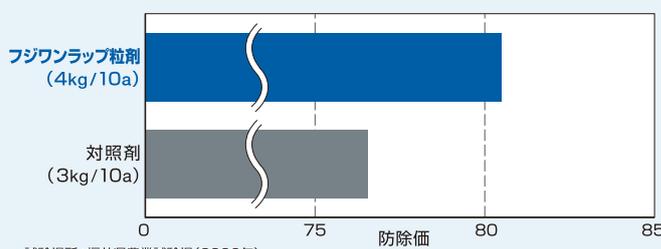
試験成績（稲/登熟歩合向上）



試験場所：日植調 福島試験地(2007年)
品 種：コシヒカリ 移植日：5月10日 出穂日：8月14日 処理日：7月23日
調 査：出穂5週間後及び成熟期に登熟歩合調査

登熟歩合の向上を確認した。

試験成績（カメムシ類/斑点米）



試験場所：福井県農業試験場(2006年)
品 種：ハナエチゼン 移植日：5月9日 出穂日：7月22日
処理日：フジワラップ粒剤/7月7日(出穂15日前) 対照剤/7月29日(出穂7日後)
発生状況：中発生(優占種/ホソハリカメムシ、トゲシラホシカメムシ) 調査：8月24日(斑点米数調査)

カメムシ類による斑点米被害が減少した。

適用病害虫・使用目的および使用方法

<2026年1月現在の登録内容>

| 作物名 | 適用病害虫名・ 使用目的 | 使用量 | 使用時期 | 本剤の 使用回数 | 使用方法 | エチプロールを含む 農業の総使用回数 | イソプロチオランを含む 農業の総使用回数 |
|-------|-----------------|-----------|--|-------------|------------------------------|--|---|
| 稲 | 登熟歩合向上 | 4kg/10a | 出穂10~20日前 但し、収穫30日前まで | 2回以内 | 混水散布 又は 無人航空機 による散布 | 2回以内 (は種時(直播) 又は 移植時までの 処理は 1回以内) | 3回以内 (移植前は 1回以内、 本田では 2回以内) |
| | いもち病 | 3~4kg/10a | 葉いもちに対しては初発7~10日前 穂いもちに対しては出穂10~30日前 但し、収穫30日前まで | | | | |
| | ウンカ類 ニカメイチュウ | | 収穫30日前まで | | | | |
| | カメムシ類 | 4kg/10a | 出穂10~30日前 但し、収穫30日前まで | | | | |
| 稲こうじ病 | | | | | | | |

(詳しくは製品ラベルをご確認ください)

注意事項

- 散布に当たっては、田水深を3cm以上の混水状態とし、散布後少なくとも3~4日間は混水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。なお、極端な漏水田での使用はさけてください。
- 本剤は予防的に散布した場合に有効であり、葉いもち防除の使用適期は初発の7~10日前です。発生予察情報に注意して時期を失しないように早目に散布してください。穂いもち防除の使用適期は出穂20日前(葉いもちの発病程度、気象条件などにより出穂10~30日前)です。なお、本剤の使用適期は稲の品種あるいは地域により前後することがあり、また、多発時の散布は効果が劣る場合があるので、使用に当たっては使用時期を誤らないように病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 稲の登熟歩合向上を目的として使用する場合、低温等生育不良条件下で効果的であるので、これらの条件下で使用する事が望ましいです。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
1. ミツバチの巣箱及びその周辺にかけられないようにしてください。

- 2. 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかけられないようにしてください。
- 無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。
1. 専用の粒剤散布装置によって混水散布してください。
2. 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整してください。
3. 散布薬剤の飛散によって他の動植物等へ影響を与えないよう散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 無人航空機で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。
- 使用後の空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

2026年1月作成 全農企画社 P4202601006